中 央区立公園条例 (昭和三十三年六月中央区条例第十四号)

新

園 施 設 0 建築面積 積 の基準の特例

囲は、 定により読み替えて適用する場合を含む。 一条の六 次項から第六項までに定めるところによる。 法第四条第一 項ただし書 (法第五条の の条例で定める範 九 第 項 の規

2 項に規定する建築物に係る建築面積の敷地面積に対する割合を 築物を除く。 る災害応急対策に必要な施設である建築物 建設省令第三十号。 定する運動施設、 という。)第五条第二項に規定する休養施設、 超えることができるものとする。 に規定する備蓄倉庫その他都市公園法施行規則(昭和三十一年 都市公園法施行令(昭和三十一年政令第二百九十号。以下「令」)を限度として前条の規定により認められる建築面積を)を設ける場合は、公園の敷地面積の百分の十一 同条第五項に規定する教養施設、 以下「省令」という。) (第四項に掲げる建 第一条の二で定め 同条第四項に規 同条第八項 次 2

3 設ける場合は、 法第五条の二第一 きるものとする。 として前条の規定により 前 項及び次項 第五条の七 係る建築面 第一 から第六項までに規定する建築物を除く。 公園 項に規定する公募対象公園施設である建築物 積 一の敷地 項に規定する認定公募設置等; 敷地 認められる建築面積を超えることがで 面積の 面 積に 対する割合を含む。 百分の十 前 項に規定する建 画 を限度 づき

> 公園 施設 の建築面 積の基準 の特例

旧

第三条の 法第四条第 項ただし書

定める範

次項から第五項までに定めるところによる。

囲は、

建設省令第三十号。 築物を除く。 定する運動施設、 という。) る災害応急対策に必要な施設である建築物 に規定する備蓄倉庫その他都市公園法施行規則 都市公園法施行令(昭和三十一年政令第二百九十号。以下「令」 第五条第二項に規定する休養施設、)を設ける場合は、 同条第五項に規定する教養施設、 以下「省令」という。)第一条の二で定め 公園の 敷地 面積の百分の十 (次 項 同条第四項に規 (昭和三十一年 同条第八項 に掲げる建

超えることができるものとする。 を限度として前条の規定に より認めら れ る建 築 面 積を

新

4

旧

積の敷地 により認められる建築面積を超えることができるものとする。 術上価値の高いものとして省令第一条の三で定める建築物 として登録された建築物その他これらに準じて歴史上又は学 の各号のいずれかに 天然記念物若しくは史跡名勝天然記念物として指定され より国宝、 登録有形文化財、 文化財保護法 面 積の 項 面 百分の二十 積に対する割合を含む。 規 重要文化 定する休 (昭和二 財、 登録有形民俗文化財若しくは登録記念物 該当する建築物を設ける場合は、 養 前二 |施設又は教養施設 十五年法律第二百十四号) 重要有形民俗文化財、 「項に規定する建築物に係る建築面)を限度として前条の規定 で ある建 特別史跡名勝 築物 の規定に 公園 0 うち 又 \mathcal{O} 3

により景観重要建造物として指定された建築物二 景観法(平成十六年法律第百十号)第十九条第一項の規定

風致形成建造物として指定された建築物成二十年法律第四十号)第十二条第一項の規定により歴史的三 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(平

5。 規定により認められる建築面積を超えることができるものとすは、公園の敷地面積の百分の十を限度として前条又は前三項のを有する建築物として省令第二条で定めるものを設ける場合5 屋根付広場、壁を有しない雨天用運動場その他の高い開放性50

て前条又は第二項から前項までの規定により認められる建築面く。)を設ける場合は、公園の敷地面積の百分の二を限度としられる建築物をいい、第二項及び前二項に規定する建築物を除6 仮設公園施設(三月を限度として公園施設として臨時に設け

敷地 積の敷地 次 により認められる建築面積を超えることができるもの 術上価値の高いものとして省令第一条の三で定める建築物 として登録された建築物その他これらに準じて歴 は登録有形文化財、 の各号の 天然記念物若しくは史跡名勝天然記念物として指定され より国宝、 前 文化財保護法 面 項 |積の百分の二十 面 いずれ 積に対する割合を含む。 規定する休養施設又は教 重要文化財、 かに該当する建築物を設ける場合は、 (昭和二十五年法律第二百十四号) 登録有形民俗文化財若しくは (同 項 重要有形民俗文化財、 に規定する建築物に係る建 養 を限度として前条の規定 施 設 で ある建 特別史跡名勝 史上又は 登録記念物 築 の規定に とする。 物 \mathcal{O} 築面 袁 Ď 又

成二十年法律第四十号)第十二条第一項の規定により歴史的三 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(平により景観重要建造物として指定された建築物ニ 景観法(平成十六年法律第百十号)第十九条第一項の規定

風致形成建造物として指定された建築物

5 られ て前条及び前 仮設 る建築物をい を設ける場合 公園施 三項 設 (三月を限度として公園施設として臨時に は、 前三項 公園 の敷地面積の百分の二を限度とし \mathcal{O})規定により認められる建築面 規定する建築物を除

2

新	旧
積を超えることができるものとする。	積を超えることができるものとする。
附則	
この条例は、公布の日から施行する。	